2021.10.30　プレスリリース

アンスティチュ・フランセ日本の文学フェスティバル「読書の秋」

エリック・フォール「日本の伝説」

― 出版記念講演・三味線演奏・ビデオプロジェクション ―

日時：11月 5 日（金） 18:00
会場： アンスティチュ・フランセ関西ー京都

アンスティチュ・フランセ日本が毎秋主催する文学フェスティバル「読書の秋」。今年はフランスで大変著名な作家 2 名をご紹介（3P 参照）するとともに、日本の伝説・伝承のスペシャリストとして活躍するエリック・フォールを招きます。

土蜘蛛、大江山、戻り橋・・・
京都在住　フランス人研究者によって
京都に眠る物語が新たな視点によって蘇る！

京都在住のエリック・フォールは、徹底したフィールドワークによる時代考証を得意とし、「源頼光」「妖怪・物の怪」「陰陽道」など 7 冊の著作があります。日本の伝説についてのアンソロジーを上梓したエリック・フォールが、重森三果による三味線と語り、マチュー・マイユフェールによるビデオプロジェクションとともに、著書から選りすぐった物語を紹介します。

この著書にちなんだ服部正実の写真展「鐘馗」も同時開催(11/5～11/21)。講演後、著書の販売とサイン会を開催します。

エリック・フォール「日本の伝説」
― 出版記念講演・三味線演奏・ビデオプロジェクション ―
日時：11 月 5 日（金） 18:00～20:00
会場：アンスティチュ・フランセ関西ー京都　稲畑ホール/ル・カフェ
（京都市左京区吉田泉殿町 8)
入場無料・WEB サイトより要予約

言語：フランス語、日本語逐次通訳
お問合せ：アンスティチュ・フランセ関西―京都　T.075-761-2105
主催：アンスティチュ・フランセ関西／助成：笹川日仏財団
協力：京都国際フランス学園、ラルマタン出版社
詳細：https://www.institutfrancais.jp/kansai/agenda/ef20211105/

エリック・フォール　Éric Faure

作家。パリ国立東洋言語文化大学大学院　日本研究科専攻　博士課程修了。「京都から太宰府へ菅原道真の軌跡を辿る」にて博士号取得。日本の伝説・伝承のスペシャリストとして活躍して、徹底したフィールドワークによる時代考証を特徴とし「源頼光」「妖怪・物の怪」「陰陽道」など 7 冊の著作がある。2021 年、仏 L'harmattan　社 Japon légendaire「伝説の日本」がシリーズ化、9 月に第 2　巻である Cinquante histoires de bouddhas　が出版された。続刊には「京都の伝説」が控えている。

重森　三果　Mika Shigemori

京都市生まれ。幼少期より江戸浄瑠璃新内節を研進派初代家元・新内志賀大掾及び新派家元・富士松菊三郎に師事。小唄を里園派宗家・里園志寿栄及び里園志寿華に師事。本名の重森三果名義では、さまざまな文学をもとに脚色した作品や自ら書き下ろした楽曲を、新しい試みをもって精力的に発表している。また数多くの映画・テレビ、舞台、などに於いて邦楽指導、演奏出演するなど多岐にわたって活動をしている。2014　年文化庁芸術祭音楽部門優秀賞受賞。

マチュー・マイユフェール　Mathieu Maillefer

2D およびストップ・モーションアニメーター。建築ドローイングとデザインを学んだ後、自身のクリエイティブな志向を追求するため、独学でアニメーションの道へと進む。パリでの4年間のキャリアを経て、2009　年以来、フリーランスとしてアングレームを拠点に活動している。これまでに、エルメス、ディプティック、ザ・ニューヨーカー、エールフランスやカナル・プリュスのアニメーションを、多数のイラストレーターと共に制作している。

服部　正実　Masami Hattori

写真家。京都に生まれ、京都市立芸術大学卒。テキスタイルデザインのかたわら、1988　年から京都の町家の屋根にある瓦鍾馗の撮影を始め、1996 年に写真集「洛中洛外の鍾馗」を出版。以後、奈良、大阪、滋賀等にある瓦鍾馗も撮影して、2018 年「私は瓦鍾馗」を出版し、現在に至る。

関連イベント

エリック・フォール「日本の伝説」― トーク、三味線と京都国際フランス学園の生徒たちによる展示会 ―

日時：11　月 21 日（日）　10 時半～12 時　会場：アンスティチュ・フランセ関西－京都

入場無料

読書の秋のイベントを紹介

「カミュ、マンガになる」（オンライン・トーク）

文学作品を漫画化する際には、その作品に絶対的に忠実でなければならないのでしょうか?イラストレーターは、小説を読んだときの感覚をできるだけ再現することができるのでしょうか。
『異邦人』・『 ペスト』など、フランスの文豪　アルベール・カミュの作品をコミカライズした作品、制作にまつわる話など、様々な話題について語っていただくオンライントークショーを開催します。

出演　ジャック・フェランデズ（BD 作家）、車戸亮太（漫画家）

日時　11 月 13 日（土）　18:00-19:30
料金　無料、事前申込不要
主催　アンスティチュ・フランセ日本、北九州市漫画ミュージアム、京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター／**助成**　笹川平和財団
協力　ガリマール出版社、彩流社、新潮社
詳細：https://www.institutfrancais.jp/kansai/agenda/ferrendezkurumado/

「マリー・ンディアイを迎えて」（オンライン・トーク）

フランス人の母とセネガル人の父の間に生まれ、セネガルに帰国した父を残してフランスで育ったマリー・ンディアイは、12 歳で執筆活動を開始。早熟で才能豊かな彼女は、今や現代フランス文学の大御所の一人です。わずか 17 歳のときに、権威ある Editions de Minuit に見出され、2009 年『三人の逞しい女』でゴンクール賞を受賞、2020 年には、マルグリット・ユルスナール賞を受賞。
マリー・ンディアイが自らの作品やキャリアについて語るオンライン・トーク。

日時 11 月16 日（火）　17:00 - 18:45
料金　無料、要事前申込
主催　アンスティチュ・フランセ、関西学院大学文学部　**助成**　笹川平和財団
協力　ガリマール出版社、早川書房
詳細：https://www.institutfrancais.jp/kansai/agenda/marie-ndiaye-wo-mukaete/

新型コロナウイルス感染予防対策について
入場の際は必ずマスクの着用をお願いします。人と人の間隔はなるべく空けてください。
こまめに手洗い、手指の消毒をしてください。体調がすぐれない場合はご来場をお控え下さい。

リリースに関するお問い合わせ　　アンスティチュ・フランセ関西　広報担当：長谷川（火～土）
satoko.hasegawa@institutfrancais.jp　Tel 075-761-2168(直) https://www.institutfrancais.jp/kansai/